

令和4年度の川崎市の大気や河川の水質等の状況をまとめました

川崎市では、大気汚染防止法等の法律に基づき、大気環境及び水環境に関する調査を実施しています。このたび、令和4年度の状況がまとまりましたので、その概要について次のとおりお知らせします。

大気環境の状況

- ・ 二酸化窒素 (NO₂) は、**全局^{*1}** (18局) で**環境基準を達成**しました。
また、**一般環境大気測定局**で、**環境基準の下限值^{*2}** (0.04 ppm) を**2年連続全局^{*1}** (9局) で**達成**しました。
- ・ 微小粒子状物質 (PM2.5) は、**全局^{*1}** (17局) で**環境基準を達成**しました。
- ・ 光化学オキシダント (Ox) は、**全局^{*1}** (9局) で**環境基準を達成しませんでした**。
光化学スモッグ注意報の発令は3回でした。全国においても環境基準達成率が極めて低い状況が続いています。

水環境の状況

- ・ 河川の代表的な汚濁指標である**生物化学的酸素要求量 (BOD) ^{*3}**は、**全地点** (12地点) で**環境基準値に適合**しました。
- ・ 海域の代表的な汚濁指標である**化学的酸素要求量 (COD) ^{*3}**は、**6地点中3地点**で**環境基準値に適合**しました。東京湾は閉鎖性水域であり、運河部に比べ環境基準が厳しい沖合部の3地点は環境基準値の適合が難しい状況が続いています。

注) 環境基準とは、環境基本法により、「大気の汚染、水質の汚濁等に係る環境上の条件について、人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」とされています。

※1 大気環境は市内に設置している測定局で調査しており、項目によって測定局数が異なります。

※2 下限値：二酸化窒素 (NO₂) の環境基準は「1時間値の1日平均値が0.04 ppmから0.06 ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること」とされており、ここでいう下限値とはゾーン下限の0.04 ppmを指します。

※3 BOD、COD：水中の有機物の量に係る指標で、この値が大きいほど汚濁負荷が大きいことを示します。

詳細については、川崎市ホームページ「令和4年度の大気環境及び水環境の状況等について」を御覧ください。

資料等、詳しくはこちら

川崎市 大気環境 水環境

検索



【環境の改善に向けた取組の推進】

法律や市条例に基づく工場・事業場の監視・指導や環境モニタリングの実施、自動車環境対策の推進や生活排水対策など、市民・事業者・行政における環境対策の取組により大気・水環境は改善傾向にあります。

しかしながら、光化学スモッグ注意報が依然として毎年数回発令されている等、更なる環境の改善をめざす必要があることから、川崎市大気・水環境計画に基づき、これまでの取組に加え、各種取組を推進しています。

令和4年度の主な取組は、次ページを御覧ください



臨海部からの遠望 (令和4年12月)

○共同住宅向けEV用充電インフラ補助制度の創設

- ・大気環境の更なる改善や脱炭素社会の実現を目的に、走行時に大気汚染物質や二酸化炭素を排出しない電気自動車（EV）等の普及を促進するため、マンションが多い本市の状況を踏まえて、マンションに設置される充電設備の導入費を補助する「川崎市EV用充電インフラ補助金」を創設し、令和5年4月より運用を開始
- ・マンションにおける充電インフラの普及促進を目的に冊子「EV マンション充電のススメ@かわさき」を発刊

詳しくはこちら

川崎市 充電インフラ 資料室 検索



○光化学スモッグ発生抑制に向けた取組

- ・光化学スモッグ注意報の発令日数は減少傾向にあるものの、現在も毎年発令していることから、発令0日をめざし、光化学オキシダント（Ox）高濃度時における原因物質の実態調査等の取組を実施
- ・光化学オキシダントの原因物質の一つである揮発性有機化合物（VOC）の排出削減に役立つリーフレット「事業者の皆様にとってほしいVOC削減のすすめ」を作成・配布し自主的取組を促進



Ox 高濃度時の実態調査

○出前授業や体験型イベントを開催

- ・大気のきれいさを目視で実感して環境に関心をもってもらうことを目的に、視程調査の出前授業や星空ウォッチングを開催
- ・水辺に親しみ、身近な自然環境に生息する水生生物を知ることで、その生息環境を大切にする意識を醸成することを目的に、川や湧水地で水質や水辺にすむ生き物を調べる水環境体験教室を開催



シュレーゲルアオガエル



オオシオカラトンボ



ホトケドジョウ



水環境体験教室



当日見えた月



星空ウォッチング

(問合せ先) 大気環境及び水環境について
川崎市環境局環境対策部環境保全課 千室 (ちむろ)
電話 044-200-2519

(問合せ先) EVに関する取組について
川崎市環境局環境対策部地域環境共創課 盛田 (もりた)
電話 044-200-2505